

第 1 2 期 決算公告（令和 7 年 1 2 月期）

令和 8 年 7 月 1 5 日掲載

東京都渋谷区恵比寿 1 丁目 1 8 番 1 4 号

クラウドバンク・フィナンシャルサービス株式会社

代表取締役 稲沢 佳樹

【貸借対照表】 (単位：千円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 16,480,060 】	【流動負債】	【 18,578,157 】
現金及び預金	831,975	関係会社短期借入金	1,280,886
立替金	5,315	匿名組合預り金	16,775,156
未収収益	10,645	預り金	33,295
関係会社未収収益	110,955	仮受金	4,344
匿名組合短期貸付金	17,008,182	関係会社未払金	352,629
短期貸付金	535,822	未払費用	64,146
関係会社短期貸付金	1,128,393	関係会社未払費用	67,570
関係会社未収入金	224,918	未払法人税等	127
未収還付法人税等	28,564	負債の部合計	18,578,157
預け金	120,960	純資産の部	
その他	788	科 目	金 額
貸倒引当金	△ 3,526,461	【株主資本】	【 223,879 】
【固定資産】	【 2,321,976 】	【資本金】	【 100,000 】
(有形固定資産)	(48)	【資本剰余金】	【 261,000 】
建物附属設備	820	その他資本剰余金	261,000
工具、器具及び備品	2,886	【利益剰余金】	【 △ 137,120 】
減価償却累計額	△ 3,659	(その他利益剰余金)	(△ 137,120)
(投資その他の資産)	(2,321,927)	繰越利益剰余金	△ 137,120
匿名組合長期貸付金	2,321,917	純資産の部合計	223,879
関係会社出資金	10	負債・純資産の部合計	18,802,036
資産の部合計	18,802,036		

個 別 注 記 表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

減価償却の方法、及び、主な耐用年数は次のとおりです。

建物附属設備	： 定額法	5 年
工具、器具及び備品	： 定率法	4 年

(2) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。

(3) 収益及び費用の計上基準

当社が帰属するクラウドバンクグループでは、主力事業として、主にインターネットを通じて投資家より小口の資金を募集し、資金需要を有する企業等へ融資を行い、これによって生じた利息等を投資家に分配する融資型クラウドファンディング事業を行っています。

当事業において、当社が営業者として、顧客との間で匿名組合契約を締結し匿名組合契約および金銭消費貸借契約等の契約条件に基づき、匿名組合貸付金から生じる受取利息、本業務の遂行に対する報酬として受領する営業者報酬、及び、債務者から直接受領する貸付債権に関しての融資事務手数料が主な収益となっています。

それぞれ収益は発生基準により計上しています。なお、匿名組合貸付金に係る未収収益につきましては、約定利率で計上しています。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

① 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しています。

② グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用しています。

③ 匿名組合損益分配額の会計処理

匿名組合の会計処理については、匿名組合からの貸付時に「匿名組合預り金」を計上し、匿名組合が獲得した匿名組合受取利息については、損益計算書において、「損益分配前の匿名組合契約に基づく損益分配前の税引前当期純損益」と「税引前当期純損益」の間に表示しています。

2. 会計方針の変更に関する注記

匿名組合貸付金に対する貸倒引当金の計上に関する変更

(1) 変更の内容

当社は匿名組合貸付金に対してリスクを負っていないため、従来、貸倒引当金を計上していませんでしたが、当事業年度より匿名組合貸付金について、貸倒引当金を計上する会計方針に変更しています。この変更は当事業年度より親会社となった unbanked 株式会社の会計処理との統一を図るとともに、匿名組合貸付金の貸付実態をより適切に反映するために行ったものです。

(2) 変更による影響額

当該会計方針の変更に伴い、当事業年度末の匿名組合貸付金に対し 3,086,321 千円の貸倒引当金を計上しています。一方で、当該貸付金に係る損失は匿名組合契約に基づき匿名組合員が負担することから、貸倒引当金の計上額と同額を匿名組合預り金から減額し、貸倒引当金繰入額の計上額と同額を匿名組合貸付金に係る貸倒引当金調整額として調整しています。匿名組合貸付金に係る貸倒引当及びおよび匿名組合契約に基づく損益分配前の税引前当期純損失はそれぞれ 3,086,321 千円増加していますが、上記調整額の計上により、税引前当期純損失は同額減額しているため、当期純損失および純資産に及ぼす影響はありません。

3. 誤謬の訂正に関する注記

(1) 誤謬の内容

前事業年度（令和 7 年 3 月期）において、後発事象として修正すべき貸倒引当金及び訴訟損失引当金の金額が誤っていたことが判明しました。この誤謬を訂正するため期首の利益剰余金を増減させています。

(2) 当事業年度の期首における純資産額に対する影響額

当該誤謬の訂正により、当事業年度の期首における純資産額が 324,000 千円減少しています。累積的影響額は、株主資本等変動計算書において「誤謬の訂正による累積的影響額」として当期首残高に反映しています。

4. 会計上の見積りに関する注記

(1) 貸倒引当金（匿名組合貸付金に係る貸倒引当金）

① 当事業年度の計算書類に計上した金額

(単位：千円)	
科 目	当事業年度
貸倒引当金（匿名組合貸付金）	3,086,321

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社は、匿名組合営業者として匿名組合員より受け入れた資金を貸し付けています。貸倒引当金の見積りにあたっては、各債権の担保の状況等を総合的に勘案しています。担保としては主に不動産等が設定されており、その評価は外部の不動産鑑定評価等を参考にしています。これらの見積りには不確実性が伴い、今後の経済環境の変化等によっては翌事業年度において貸倒引当金の追加繰入が必要となる場合があります。

(2) 貸倒引当金（匿名組合貸付金以外に係る貸倒引当金）

① 当事業年度の計算書類に計上した金額

(単位：千円)	
科 目	当事業年度
貸倒引当金（匿名組合貸付金以外）	440,140

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積りの内容に関する情報

当社は、関係会社へ事業運営費やそのほか外部の事業者へ個別に事業の用として必要な資金を貸し付けています。貸倒引当金の見積りにあたっては、債務者の財務状態、返済状況等を総合的に勘案しています。これらの見積りには不確実性が伴い、今後の経済環境の変化等によっては翌事業年度において貸倒引当金の追加繰入が必要となる場合があります。

5. 貸借対照表に関する注記

(1) 関係会社に対する金銭債権債務

(単位：千円)

関係会社に対する短期金銭債権	9,109,914
関係会社に対する短期金銭債務	1,633,515

6. 損益計算書に関する注記

(1) 関係会社との取引高

(単位：千円)

売上高	571,497
販売費および一般管理費	283,937
営業取引以外の取引	122,103

7. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 発行済株式総数に関する事項

(単位：株)

株式の種類	当期首株式数	当期増加	当期減少	当期末残高
普通株式	61	600	—	661

(注1) 普通株式の発行済株式数の増加 600 株は、新株発行によるものです。

(注2) 自己株式の保有はしていません。

8. 税効果会計に関する注記

(1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生原因別の主な内訳

(単位：千円)

繰延税金資産	
貸倒引当金	143,088
貸倒損失	4,130
未払費用	18,004
その他	36
税務上の繰越欠損金	32,905
繰延税金資産 小計	198,164
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額	△32,905
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△158,581
繰延税金資産 合計	6,677
繰延税金負債	
未収還付事業税	6,677
繰延税金負債 合計	6,677
繰延税金資産の純額	—

(2) グループ通算に関する注記

「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第 42 号 2021 年 8 月 12 日）に従って、法人税及び地方法人税の会計処理又はこれらに関する税効果会計の会計処理並びに開示を行っています。

9. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、融資型クラウドファンディング事業（匿名組合営業者業務）を主たる事業としています。事業の遂行上必要な資金を、主に関係会社からの借入金、および匿名組合員からの出資金（匿名組合預り金）により調達しています。資金運用については、匿名組合契約に基づく貸付（匿名組合貸付金）を中心としており、投機的な目的での金融商品の取引は行わない方針です。

匿名組合貸付金の実行に際しては、各案件の担保状況や貸付先の信用状態を厳正に審査し、実行後も定期的にモニタリングを行うことでリスクの低減を図っています。また、必要に応じて貸倒引当金を計上しています。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

令和7年12月31日現在における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額について、現金及び預金、未収入金（※）、短期貸付金（※）、匿名組合短期貸付金、短期差入保証金、預け金、匿名組合預り金、関係会社未払金、短期借入金（※）、未払法人税等は短期間で決済されるため、時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しています。

（※）関係会社含む

（注1）金銭債権の時価評価

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
匿名組合長期貸付金	2,321,917	2,307,367	14,550

（注2）金銭債権の決算日後の償還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金及び預金	831,975	—	—	—
匿名組合短期貸付金	17,008,182	—	—	—
匿名組合長期貸付金	—	2,321,917	—	—
関係会社短期貸付金	1,128,393	—	—	—
合計	18,968,551	2,321,917	—	—

（注3）関係会社短期借入金及び匿名預り金の決算日後の返済及び返還予定額

（単位：千円）

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
関係会社短期借入金	1,280,886	—	—	—
匿名組合預り金	18,436,900	—	—	—
合計	19,717,786	—	—	—

10. 関連当事者との取引に関する注記

親会社及び法人主要株主等

（単位：千円）

属性	会社等の名称	議決権等の所有 （被所有）割合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	クラウドバンク㈱	被所有 直接 100%	資金の貸付	資金の回収	150,000	関係会社短期 貸付金	390,000
				受取利息 （注1）	12,572		

取引条件及び取引の決定方針

（注1）事業運転資金のため貸付けているものの利息であり、利率は市場金利を勘案して決定しています。

子会社等

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等の所有 (被所有) 割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	(同) フィナンシャル・エージェンシー	100%	匿名組合資金の貸付	匿名組合資金の貸付 (注 1)	1, 165, 852	匿名組合短期貸付金	295, 889
				匿名組合資金の返済	3, 507, 787		
				売上高 (注 1)	117, 534		
親会社の子会社	クラウドバンク・インキュラボ(株)	-	資金の貸付及び 資金の借入	資金の貸付 (注 2)	810, 000	関係会社短期貸付金	590, 000
				資金の回収	220, 000		
				受取利息 (注 2)	26, 865		
				資金の返済	220, 000	関係会社短期借入金	280, 000
				支払利息 (注 2)	11, 234		
親会社の子会社	日本クラウド証券(株)	-	資金の貸付 ファンド管理等の業務委託	資金の返済	120, 000	関係会社短期借入金	270, 000
				支払利息 (注 2)	9, 318		
				ファンド管理 (注 3)	53, 299	関係会社未払金	223, 860
				その他の業務委託 (注 4)	157, 300		
親会社の孫会社	クラウドバンク PI4 号 (同)	-	匿名組合資金の貸付	匿名組合資金の貸付 (注 1)	1, 840, 661	匿名組合短期貸付金	1, 562, 457
				匿名組合資金の回収	1, 962, 094	匿名組合長期貸付金	1, 646, 387
				売上高 (注 1)	230, 482		
親会社の孫会社	クラウドバンク PI5 号 (同)	-	匿名組合資金の貸付	匿名組合資金の貸付 (注 1)	463, 411	匿名組合短期貸付金	575, 463
				匿名組合資金の回収	408, 575	匿名組合長期貸付金	309, 350
				売上高 (注 1)	65, 373		
親会社の孫会社	CB 太陽光発電事業開発 1 号 (同)	-	匿名組合資金の貸付	匿名組合資金の貸付 (注 1)	143, 645	匿名組合短期貸付金	2, 507, 477
				匿名組合資金の回収	18, 746		
				売上高 (注 1)	123, 427		
親会社の孫会社	CB 事業開発 2 号 (同)	-	匿名組合資金の貸付	匿名組合資金の貸付 (注 1)	-	匿名組合短期貸付金	780, 000
関連会社	クラウドバンク・キャピタル(株)	-	資金の借入	資金の借入 (注 2)	790, 000	関係会社短期借入金	590, 000
				資金の返済	200, 000		

				支払利息 (注2)	46,106		
--	--	--	--	--------------	--------	--	--

取引条件及び取引の決定方針

- (注1) 匿名組合資金の貸付利率については、外部貸付先と同様に事業の状況や担保状況を勘案し決定しており匿名組合受取利息、営業者報酬、営業者融資手数料として計上しています。
- (注2) 事業運転資金のため貸付・借入れているものの利息であり、利率は市場金利を勘案して決定しており営業外損益として計上しています。
- (注3) ファンド管理手数料は、匿名組合ファンド組成のための事務・システム等の手数料であり、実務負荷・提供リソース量を考慮し、負担割合については当事者間で每期交渉の上決定しています。
- (注4) その他業務委託については、日本クラウド証券株式会社でのクラウドファンディング事業にかかる人件費の一定割合を負担するもので、負担割合については当事者間で每期交渉の上決定しています。

1 1. 1株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	289,444円91銭
1株当たり当期純損失(△)	△1,906,625円66銭

1 2. 収益認識に関する注記

収益を理解するための基礎となる情報

「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載の通りです。

1 3. その他の注記

決算期変更に関する注記

令和7年9月19日開催の株主総会において、定款の一部変更を決議し、決算月を3月31日から12月31日に変更しています。よって、当事業年度は令和7年4月1日から令和7年12月31日までの9カ月となっています。